



映画でつながる。未来がはじまる。  
By UNITED PEOPLE

9 組 38 番 名前 三輪 平八郎

【映画】

## シード ～生命の糧～

【レビュー】

○ あらすじ

前世紀中に野菜の種子の90%が消滅した。原因は異常気象や遺伝子組み換え食品の登場などだ。しかし、その中で、少しでも多くの種子を残そうとする人々が立ち上がり、種子の多様性を守る方法を採る。

○ 感想

外国では農薬を用いる農家が多く、それは体に悪影響を与えるものもあると知り、野菜を購入するときは、気をつけて買わなければならぬように感じた。また、モンサントという会社が、遺伝子組み換えを多く行っていて、悪く描写されていたが、その遺伝子組み換えは悪いものなのか分からなかった。  
⇒調べて、下にまとめた。

○ 調べたこと - 遺伝子組み換えについて

・メリット

品種改良は新たな性質をもつ作物を作るのに何世代もの交配を行う一方、遺伝子組み換えはより早く新たな特性を持つ作物を作る。

↳ 市場への投入が早い。食糧問題の改善に寄与

・デメリット

・アレルギーの原因になり、人体に害をもたらす可能性がある

↳ 厚生労働省は厳しい審査を行っているため安全

・環境に与える影響 → 農林水産省は極めて低い

○ 考えたこと

遺伝子組み換えはたしかに「グレー」な存在だが、食糧難が危惧される現在、頼らざるをえないと思う。また、映画ではデメリットに対する政府の対応なども出さずに、否定している人々が多かったが、その人達も遺伝子組み換えに協力的な目を向け、グレーな部分を明らかにして安全なものにしていけたらと思う。